

災害を生きる — その文化的諸相 —

第18回公開講座「国際文化基礎講座」へのお誘い

未曾有の大災害と言われる東日本大震災。復旧・復興へ向けた懸命な努力が続いています。思えば私たちの文化の歴史は、時として猛威を振るう自然への対応の歴史でもありました。人々はどうのよう
に災害を生きてきたのか。またこれからどのように災害を生きてゆくのか。冷静に災害を耐え忍ぶ姿
が世界に称賛された日本人は、特異な自然観を持っているのか。自然の中で生きる人間が避けては通
れない災害という問題に、経済・文学・環境科学の視点から迫ります。

【会場】 仙台市青葉区川内4-1番地 **東北大学 講義棟 B200 講義室**

【対象】 どなたでも参加いただけます。

【募集人数】 **100名** (先着順にて締め切ります。)

【講習料】 一般 3,000円
リピーター割引 2,000円 (過去に本研究科公開講座の受講経験がある方)
学生割引 1,500円
全て出席した方には、『修了証書』を交付いたします。

【募集期間】 平成23年8月1日(月)～10月14日(金)

【申込方法】 ハガキ、FAXもしくは電子メールで、①氏名(フリガナ)、②年齢、③性別、④職業(学
生は学生証のコピー添付)、⑤現住所、⑥電話番号、⑦過去の受講経験の有無、⑧駐車場利
用の有無を、国際文化研究科教務係までお知らせ願います。後日、講習料の納付方法等
についてご連絡いたします。

【申込・問合せ先】 **東北大学国際文化研究科教務係** 〒980-8576 仙台市青葉区川内4-1番地

TEL 022(795)7556、FAX 022(795)7583、E-mail int-kkdk@bureau.tohoku.ac.jp

*講義要旨等、詳細は東北大学大学院国際文化研究科ホームページをご覧ください。

<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/>

回	日時	テーマ (講義題目)	担当講師
1	11月12日(土) 14:00~16:20 (休憩10分)	災害リスクとインフラ整備 - ヒト・モノ・カネそれぞれの視点から -	柳瀬 明彦 (国際経済学、公共経済学)
2	11月19日(土) 14:00~16:20 (休憩10分)	自然の畏敬 - 日本とヨーロッパに見る風景の受容 -	石幡 直樹 (環境文学批評)
3	11月26日(土) 13:00~15:20 (休憩10分)	震災廃棄物の適正処理と再資源化 - 資源循環型震災復興モデルへの政策提言 -	劉 庭秀 (環境政策学、環境システム論)
ラウンド・テーブル 11月26日(土) 15:35~16:35		各回の講師を交えた歓談の時間を設けました。お茶やコーヒーを飲みながら 3回の講義を振り返りましょう。	

11月12日(土)は13時40分から「開講式」を行います。

後援 仙台市教育委員会

【講師の紹介】

柳瀬 明彦 (やなせ あきひこ 東北大学大学院国際文化研究科・准教授<国際経済交流論講座>)

- ◆専門は、国際経済学、公共経済学
- ◆主要著書・論文：
『環境問題と経済成長理論』（三菱経済研究所、2002年）
「History-Dependent Paths and Trade Gains in a Small Open Economy with a Public Intermediate Good」
（International Economic Review、近刊、共著）
「Trade, Strategic Environmental Policy, and Global Pollution」 (Review of International Economics
Vol. 18、2010年)
- ◆本研究科での担当授業科目：国際経済関係論、国際経済交流論特論・特別研究、
国際経済交流論総合演習・特別演習

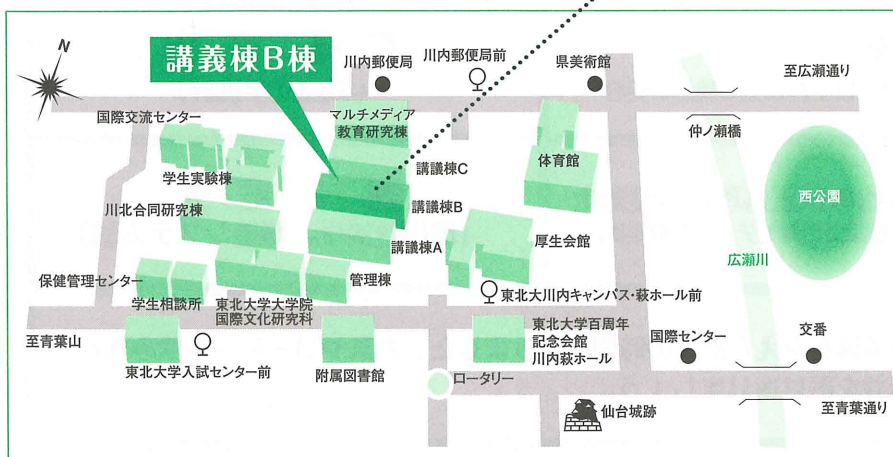
石幡 直樹 (いしはた なおき 東北大学大学院国際文化研究科・教授<多元文化論講座>)

- ◆専門：環境文学批評
- ◆主要著書・論文：
『岩波講座文学第7巻 つくられた自然』（岩波書店、2003、共著）
「喪失の森—ワーズワスとソローとロレンス」『英語青年』第150巻第5号（研究社、2004）
『ロマンティック・エコロジーをめぐって』（英宝社、2006、編著）
- ◆本研究科での担当授業科目：多元環境文化論、多元文化論特論・特別研究、
多元文化論演習・特別演習

劉 庭秀 (ゆ じょんす 東北大学大学院国際文化研究科・准教授<国際環境システム論講座>)

- ◆専門：環境政策学、環境システム論
- ◆主要著書・論文：
『ごみから見える世の中』（単著、三星経済研究所、2006年）
『環境・自動車リサイクル辞典』（共著、日報、2010年）
「アジアにおける自動車リサイクル制度の現状と課題-韓国との運用状況と中国の動向を中心に-」（単著、『廃棄物資源循環学会誌』Vol.21 No.2、pp.87-95、2010年）
- ◆本研究科での担当授業科目：資源循環型環境システム論、国際環境システム論特論・特別研究、
国際環境システム論演習・特別演習

【会場案内図】



【交通手段】

- 仙台市営バス利用：
仙台駅西口バスプール乗り場から、動物公園循環（青葉通・理・工学部・仙台城跡南経由）・宮教大・青葉台行きに乗り、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」下車。あるいは、交通公園循環（広瀬通・二高県美術館・交通公園経由）、交通公園・川内営業所（広瀬通・二高県美術館経由）行きに乗り、「川内郵便局前」下車。
（いずれも所要時間約15分、料金180円）
- 自家用車利用：
構内の駐車場が利用できますので、事前にお申し込みください。

(備考) 申し込みの際に必要な受講生の情報は、連絡先の把握及び今後の公開講座運営上の統計資料作成以外には、使用しません。